



環境化学職員を紹介します！



環境化学職ってこんな感じ♪

環境化学職は化学の知識を活かしながら、大気・水質・騒音の規制や監視、水道及び下水の水質管理などの業務を行っています。

この4年間で4名の新規採用がありました。独自の研修を行う等、職員一丸となって、能力向上に努めています。



こんなことをやっているよ！

環境保全課

大気の汚染状況や公共用水域の水質汚濁の状況等を監視するとともに、環境の保全を図るため工場への立入検査や指導等を行っています。環境化学職は市民の生活環境の保全のために、専門知識を生かし日々業務に励んでいます。

産業廃棄物対策課

産業廃棄物の発生抑制・適正処理を確保し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、産業廃棄物処理業者への立入や許可等の指導の業務を行っています。環境化学職は産業廃棄物の排出者や処理業者への指導に活躍しています。

下水道施設課

下水の適切な処理を目的として、下水道施設の新設・更新や維持管理、下水道が持つ資源や施設の有効活用等の業務を行っています。その中で、環境化学職は処理水質の安定化を目指して、事業場規制や水質試験等の業務を担っています。

水道局浄水担当

水道水の安全性を確保し、安全な水道水を市民の皆様にお届けするため、水質検査計画に沿った水質管理を行っています。また、水道水に関する市民からの問い合わせ対応や小学生等への啓発活動なども行っています。



環境化学職の先輩



水質分析の様子



水道水に関する市民からの問い合わせ対応



ここがおすすめ！

コミュニケーション能力も不可欠！

環境化学職は、企業に対する規制や指導を行っているため、環境に関する法律や最新の科学技術など化学以外の知識も必要となりますが、非常にやりがいのある仕事です。(環境保全課職員)

環境化学職の魅力は、若手職員が少ないため、若手でも活躍するチャンスがたくさんある点です。まさに若手職員が重宝される職種です。(下水道施設課職員)



若手でーす！

